

概要

本技術報告では、気象庁予報部及び気象研究所台風研究部が中心となって2015年9月に設置された、「台風予報・解析技術高度化プロジェクトチーム」のもとで取り組んだ、台風強度予測手法（ガイダンス）の開発に関して報告する。プロジェクトチームは以下に示す5つのガイダンスを開発した。これらは統計力学手法である SHIPS(Statistical Hurricane Intensity Prediction Scheme)、LGEM(Logistic Growth Equation Model)、RII(Rapid Intensification Index)、簡易的な軸対称数値モデルを用いた力学手法である CHIPS(Coupled Hurricane Intensity Prediction System)、複数のガイダンスを利用するアンサンブル手法であるコンセンサス予測である。それぞれのガイダンスに関して、その概要や気象庁で運用するために行なった技術開発、予測精度や利用上の注意点等について記す。

開発したガイダンスは、プロジェクトチーム活動のもと、既に気象庁予報部に技術移転されており、予報部で試験的に現業利用されている。これらのガイダンスにより、気象庁の強度予報の精度が大幅に改善することが期待されることから、2019年3月にガイダンスの現業運用が開始される予定である。また、それに合わせて台風強度の予報時間が現在の3日から5日へと延長される予定である。